

答申（案）（産業・観光・情報専門部会）

当該分野においては、産業・観光・情報に関する施策が示されている。沖縄県内の景気は、リーディング産業である観光関連産業が好調に推移していること等から、好調を維持しており、本土景気、海外経済の動向等の影響を注視する必要があるものの、しばらくは、この傾向が続くものと思われる。沖縄県の海と空の玄関口である本市は、沖縄県全体の発展を見据えた施策に取り組む必要がある。これについて、次のように提言する。

沖縄県においては、「沖縄 21 世紀ビジョン」やそれらの関連施策を補完・強化・促進させるため「アジア経済戦略構想」を策定し、アジアのダイナミズムを取り込み、沖縄の発展を加速させる具体的な戦略を示している。沖縄経済をけん引する基軸となる 5 つの重点戦略のうち、情報通信産業はもとより物流産業については、本市において重要な産業となることから、沖縄県と連携し、諸施策に取り組みたい。

外国人観光客は、観光客全体に対する割合が 6%程度であったものが、近年は 20%を超える状況となっており、この増加傾向はしばらく継続するものと推測される。観光関連産業は、安全、安心、快適である当地のイメージが重要であり、それらへの対策は、好調な時期にこそ取り組まなければならないものと認識されたい。そのためには、行政の各分野に横串を通し、それぞれ施策が連動して機能することが重要である。

「稼げるまちをつくる」ことについては、行政の経済振興に対する意識が変化してきているものと評価するが、それを実感できるように、市民所得を向上させることが出来たかどうかを可視化できる指標を設定すべきである。

労働力不足に関する問題については、外国人労働者の活用の推進を含め必要な支援策を検討するとともに、人材の育成の取り組みを強化すべきである。

指標の設定については、様々な取り組みを進める上で、施策に対し 1 つの指標のみでは不十分であり、取り組みと連動した適切な数と内容が伴った指標設定が望ましい。

上記の内容も含めて、個別に列挙すれば次のようになるので参考にされたい。

30 国際化に対応した観光環境の整備されたまちをつくる

- ・ W i - F i 環境の整備については、那覇市のみの視点になっており、インバウンドの視点から県全体での環境整備と連携した取り組みを検討してもらいたい。
- ・ 観光環境の整備には、バリアフリーの視点、住民のストレス軽減の視点を取り入れた整備を検討してもらいたい。
- ・ 観光客と市民とのふれあいを通して、リピーターを確保するためにも、市民としてかかわれる取り組みの発信を検討してもらいたい。
- ・ 観光客が増加している現状だからこそ、おもてなしの受入態勢だけでなく、災害、防犯、テロ対策等をデジタルサイネージの設置も含め検討しなければならないため、「安全安心の取り組み」として取り組みの柱を追加して、観光危機管理に関する計画の策定等を取り組みの方向性を加えることを検討してもらいたい。
- ・ 福祉、防災、インフラ整備など様々な行政分野において、部門間の連携を図り、市民だけでなく、観光客や来訪者を対象とした施策が必要である。

- ・新文化芸術発信拠点には、観光客への夜間のエンターテインメントの提供も検討してもらいたい。

31 那覇らしい観光資源の発掘・創造と魅力のあるまちをつくる

- ・世界水準の観光リゾート地を目標とするとあるが、那覇市が目指す世界水準とはどのような状態かを掲げることを検討してもらいたい。
- ・継承される伝統文化に「空手」「琉球泡盛」「琉球料理」をキーワードとして盛り込むことを検討してもらいたい。
- ・「まぐろ」のプロモーションには、県の施策と連携して取り組みを検討してもらいたい。
- ・スポーツコンベンションの取り組みのキーワードとして「リハビリ」「医療ツーリズム」を盛り込むことを検討してもらいたい。
- ・観光収入額の算出方法が、説明を受けなければわからないため、筋書きが見えるような記述を検討してもらいたい。
- ・指標が対象としているもの等を含め妥当性を検討してもらいたい。

32 戦略的産業及び新たな産業の振興により稼げるまちをつくる

- ・戦略的産業には観光産業も含まれているため、施策 31 の指標として掲げている観光収入を指標として再掲することを検討してもらいたい。
- ・指標の基準年度を 2014 年度としているが、最新の数値を採用すべきである。
- ・企業誘致で外から呼び込むだけでなく、内発的に産業を発展させる視点も検討してもらいたい。
- ・「3 那覇空港第二滑走路増設による経済活性化」の説明が総論となっているため、取り組みの方針を具体的にイメージできる表現への修正を検討してもらいたい。
- ・「IT 創造館における」とあるが、同施設は既にフル稼働状態となっているため、メカル 45 の活用も念頭に置いて「IT 創造館をはじめとした」という表現への修正を検討してもらいたい。
- ・「稼げるまち」は、那覇市の風格が失われるという意見がある半面、行政の意識が雇用の確保や人材開発といった市民所得を向上させるという方向に変わってきていると評価できる一面もある。国の施策とも連動している。那覇市が稼げるまちに近付いているか、市民所得を向上させることができたかが図れる指標の設定を検討してもらいたい。

33 商工業が発展するまちをつくる

- ・取り組みの柱が 7 つに対し、指標の設定が 1 つであるため、複数の指標の設定を検討してもらいたい。例えば、開業率や廃業率など。
- ・後継者の育成・確保のほかに「事業承継」をキーワードとして盛り込むことを検討してもらいたい。
- ・「伝統的工芸産業」に泡盛も含めて考え、表現の修正と指標の設定を検討してもらいたい。

34 農水産業が生き活きとしたまちをつくる

- ・市内専業農家などのデータを把握したうえで、新規就農者を増やす取り組みを検討してもらいたい。
- ・市内には、就農希望者はいるが農地はない、市外には、農地はあるが就農希望者がいない状況があるため、近隣市町村と連携して農業の振興を図るような那覇市の特徴がみえるように表現への修正を検討してもらいたい。

35 那覇港の物流・交流拠点機能を強化し、世界に開かれたまちをつくる

- ・施策 32 の「那覇港総合物流センター設置による経済活性化」の再掲を検討してもらいたい。
- ・うるま市の製造業用地も不足している状況がある。物流関連のみではなく製造業の立地も視点に入れた取り組みを検討してもらいたい。
- ・ポートセールスの取り組みを那覇港管理組合と連携した取り組みを検討してもらいたい。

36 オープンデータが活用されるまちをつくる

- ・オープンデータを活用できる「人材育成」の取り組みを検討してもらいたい。
- ・「リーサス」の存在を広めることも大事であり、国から人材を派遣する制度も活用しながらスピード感を持って取り組むことが重要である。
- ・指標の設定について検討してもらいたい。

37 みんなが笑顔で楽しく働きやすいまちをつくる

- ・「労働力不足」に対する取り組みとそれに対する指標の設定も検討してもらいたい。
- ・非正規率の改善は、企業側の側面と労働者側の側面の両面からのアプローチが必要であり、具体的な方向性を示すことを検討してもらいたい。

38 産業を支える人材が育つまちをつくる

- ・「外国人材の活用の検討」とあるが、既に検討の域を出て推進する段階にあるのではないか。インバウンド対応だけでなく、産業全般での活用の視点からの取り組みを検討してもらいたい。
- ・経営人材、ミドルリーダー人材の育成に対象を絞らず全ての分野での人材育成に取り組む必要があるのではないか。柱書きの修正を検討してもらいたい。
- ・障がいのある人も働きやすい環境を構築するよう福祉政策ともリンクさせて、産業振興に位置付けることも検討してもらいたい。

39 商店街やマチグッーなどが賑わうまちをつくる

- ・中心市街地に客を呼び込む際の問題として観光客の動線があげられ、駐車場の問題がある。駐車場も含めハード面（バスのロータリー、パークアンドライド、ペデストリアンデッキ）の整備が必要である。

- ・商店街振興組合では、バスターミナルに観光客用のバスを駐車できないか検討している。その際、国際通りをバスターミナルまで延長することを検討してもらいたい。
- ・市民の意識として、国際通りは観光客が行くところで生活ために行く場所ではないということが挙げられる。市民県民が訪れたいくなるような「個店の魅力づくり」への道筋を示すことを検討してもらいたい。
- ・地元にお金が落ちていない状況が見えており、数年はその傾向がさらに進むことが予想される。マーケットが拡大する中で厳しい競争状態にさらされた個店に対し、個店の魅力づくりに対して行政がどれだけ支援できるか検討してもらいたい。
- ・指標の最終目標値については、県民に戻ってきてもらうメッセージを発するために高い目標の設定を検討してもらいたい。
- ・商店街振興組合の組織力を強化する仕組みにおいて、新規参入者が加入しやすくなるよう加入率を上げる取り組みを検討してもらいたい。

40 中心市街地の再整備など魅力あるまちをつくる

- ・水上店舗の課題は、民間だけでは厳しいだろう。行政がエリア全体を検討し、ゾーニングを示し、ある程度の支援を検討してもらいたい。
- ・火災、水害対策の情報共有と連携体制の強化を図る取り組みを検討してもらいたい。
- ・指標について、1つだけでなく追加を検討してもらいたい。
- ・外国人観光客や中心商店街に特化した「安全、安心、快適」「災害、防犯、テロ対策」等をキーワードとして盛り込んでもらいたい。
- ・高校生や大学生が中心となったアイデアコンテストなど中心商店街へ足を運ぶ施策を検討してもらいたい。
- ・エリア全体を活性化させる議論が必要であり、「農連市場」についても活性化に向けた取り組みを検討してもらいたい。